

番号	氏名	抱負
081	加藤 守	これまで先輩たちが築いてこられた日本放射線技術学会の歴史と伝統を大切に、世界に誇れるような学会にしていきたいと考えております。若手や先輩方と力を合わせ、よりアグレッシブな学会になるよう努めます。また、すべての会員の臨床あるいは研究活動に有効な情報を提供すると共に、他学会とも連携し、日本の放射線診療の標準化を構築したいと考えております。
082	金沢 勉	これまで私の技術学会での活動は、総会での発表や座長、論文の投稿、論文の査読等で学会に参加をして参りました。現在の日本放射線技術学会は、国際化に取り組み総会学術大会では、英語発表の演題数の増加や英語論文誌の刊行を行い着実に歩んでいます。代議員就任にあたっては、微力ながらこの流れを一般会員に浸透させ、放射線技術の向上を目指す事で会員の増加につなげていきたいと考えます。
083	神谷 貴史	大阪大学医学部附属病院の神谷貴史です。私は平成25年度から27年度まで班員として2つの学術調査研究班に加えて頂きました。一方ここ数年、当院の核医学講座には日本だけではなく世界各国から研修に来られる方が増えております。研修に際し、班員として学んだことが非常に役に立っております。微力ではありますが、自分の経験を生かして学会に貢献できればと思っております。よろしくお願いいたします。
084	河窪 正照	日本放射線技術学会は診療放射線技師をはじめ、様々な分野の会員が所属する大規模な学会であり、これまでも多くの研究成果を発表してきました。医学の進歩に大きく寄与する多くの研究を国際的に発信し、さらなる医学への貢献ができる国際的な学会を目指して活動中であると理解しております。代議員として、学会がさらに発展し、多くの学会員が国際的に活躍できるような体制作りに取り組み、学会の発展に貢献したいと考えます。
085	川下 郁生	本学会の発展に微力ながら貢献したいという思いから、このたび代議員に立候補させていただきました。
086	川内野 友彦	長崎大学病院で放射線治療に長年携わっておりますが、今後は自身の研究分野のみならず、放射線技術全般の発展に貢献できますよう、会の運営に携わらせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
087	川又 郁夫	代議員に立候補しました川又と申します。学術活動としてはCTを専門として活動を行ってきました。学会の国際化への流れは大いに賛成であり、国際学会として認められれば、会員の日々の積み重ねである発表や論文が高く評価され、放射線技術学が確立されます。そして、各医学会や企業と連携をとることにより、医療に大きく貢献できる学会へと成長していくと考えています。代議員として自分に出来る事を精一杯頑張ります。
088	川真田 実	
089	河村 誠治	放射線技術学会は私を診療放射線技師としても教員としてもこれまで私を育てて頂きました母親のようなものです。最後のご奉公のつもりで放射線技術学および核医学検査技術学の発展のために頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。
090	川守田 龍	診療放射線技師として、放射線治療業務を専従で行っております。活動としては、関西地区の治療関連の研究会副代表、専門技師認定機構関西地区教育認定指導者、放射線治療品質管理機構理事として活動しておりますが、治療に限らず診断領域についても連携を取りながら、幅広く学会会員に有益な情報提供を行っていきたくと考えております。